

発 言 通 告 書

発言者氏名	ねぎしかずこ
発言の会議	平成27年 9月15日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長

【件名及び発言の要旨】

1 住民の意思が反映されるような公共跡地の利用について

(1) 横須賀警察署跡地の利用について

ア 横須賀警察署跡地の一角も含めた横須賀中央のエリアには、横須賀中央エリア再生促進アクションプランが策定されましたが、横須賀警察署跡地の利用についてはプランに沿った民間の進出に任せるという姿勢で本当にいいのでしょうか。

イ 人口減少が続いている中、適正規模を超えるような商業の集積は、かえって、今ある商業を圧迫するおそれもあり、これまで築き上げてきたものまで壊しかねません。市長は、アクションプランの方針での利用が望ましいとお考えでしょうか。

ウ 同跡地の利用については本市で実際に暮らし、営業を営み、子どもを学校に通わせている方々の要望に真っ先に耳を傾け、同時に、本市の顔ともなり、市民全体にとってもかけがえのないものになるよう、多くの市民からの知恵を出してもらい、練り上げていってはどうか。

(2) 横須賀税務署・横浜地方裁判所横須賀支部跡地についても、利用予定はなく、照会に対し「要らない」と回答したのでしょうか。

- (3) 県有地や国有地であっても、公共施設のデータをテーブルにのせ、市民が主体的に公共施設のあり方や各地域の将来を考えてもらう取り組みを検討してはどうでしょうか。市長のお考えをお示してください。
- (4) 将来、利用予定が生じたときのために、そのリザーブ用地として確保しておくことは、将来にわたるまちづくりにとって重要な視点だと思いますが、市長はその点をどのようにお考えでしょうか。

2 施設配置適正化計画のうち市民の同意が得られていない計画の再考について

- (1) 反対の意見が多く出されている計画については再考なさるおつもりでしょうか。少なくとも、このような計画を前には進めない、とするのでしょうか。

3 基地での危険物・可燃物に起因する事故やオスプレイがもたらす新たな基地被害から住民を守ることにについて

- (1) 8月24日未明に相模原市域にある米軍施設「相模総合補給廠」で発生した倉庫爆発事故は、中国天津市の爆発事故と重なって、有害物質が含まれていないかなど、周辺住民に大きな恐怖を感じさせるものとなりました。

ア 横須賀市域にある米軍基地において、そこに貯蔵されていると思われる危険物・可燃物について、どのようなものがどこに、どれだけあるか、本市は把握できているのでしょうか。

イ 市長は、地位協定の見直しを求めないということで理解しているのでしょうか、お答えください。

ウ 地位協定の見直しの必要性について、神奈川県知事や相模原市長など関係首長とも歩調を合わせていくことが必要ではないでしょうか。

エ 「災害対応準備及び災害救援の共同活動に関する横須賀市と在日米海軍司令部及び米海軍横須賀基地司令部の覚書」は「横

須賀市と横須賀基地は、市や基地で働く者や居住者の生命と安全を守るという共通の目標を持つ」という目的を果たすため、事故が発生した場合に備えて、物品の事前の把握や、事後の原因究明や再発防止などにおいて、本市が、米軍と対等に関わるものとなっているのでしょうか。また、少なくとも、事故時の立ち入りを求めていくべきではないのでしょうか。

(2) 10月2日には、原子力空母ロナルド・レーガンが配備されようとしています。

ア 空母には、オスプレイが艦載されると聞いておりますが、問い合わせはしたのでしょうか。

イ 墜落・騒音の被害がもたらされないよう、どのような対策を講ずるおつもりでしょうか。